

## 英語語彙におけるイタリック系二重語 (1)

安達 一美

(武庫川女子大学英米文学科)

## Italic Doublets in the English Vocabulary (1)

Kazumi Adachi

*Department of English, Faculty of Letters,*

*Mukogawa Women's University, Nishinomiya 663, Japan*

Doublets are the words that are cognates but different in form and/or in current meanings. The English doublets can be categorized into Italic, Germanic, Greek and Eastern ones by their etymological sources. This paper aims to subcategorize the Italic doublets which are selected from Allen's list of the English doublets, according to the process of their borrowing, and to present the processes of the Italic doublets for the Japanese students' understanding of the English vocabulary.

### 1 序

英語は様々な言語との接触の歴史を反映しており、それらの言語からの借入をとおして多くの派生語とか類義語などを生み、今日の豊饒で洗練された語彙を形成している。借入する様態には幾つかの種類があるが、同じ語が借入時期を異にして一度のみならず二度三度にわたって借入されたり、同じ語が異なる幾つかの言語を経て英語に借入されたものがある。そのような借入の結果、同一の語から二つ(三つ・四つ)の異なる形態とか異なる意味の語が生じた。これらを二重語(三重語・四重語)と呼んでいる。二重語は、その語源によってイタリック系・ゲルマン系・ギリシア系・東洋系などに大別することができる。ことに、英語に大いなる影響を及ぼしたラテン語の借入は、ラテン語から派生したロマンス語からの借入とともに多くのイタリック系二重語を生むことになった。このような二重語を認識することは、英語学習者にとって英語語彙を深く理解するうえで大きな助けとなるであろう。

しかし、二重語の定義は必ずしも明確ではない。Skeatは、*Etymological Dictionary of the English Language*のappendixにおいて、二重語を“words which, tho apparently differing in form, are nevertheless, from an etymological point of view, one and the same, or only differ in some unimportant suffix”<sup>1)</sup>と定義して、644組の二重語のリストを掲載している。しかし、Edward A. Allenは、Skeatが二重語をあまりに広義に解しており語源をAryan語(印欧祖語)にまで遡って同一語源の二重語としているとして、二重語を“pairs of words in the English language, derived by different courses from the same base, Romanic, Teutonic, Arabic, etc.”<sup>2)</sup>と定義しなおした。そして、Allenは、beef/cow, chief/head, verb/word, guest/host, name/noun等のようにAryan語まで遡ってSkeatが二重語としているものを省き、また、新たなものを加えて922組の二重語のリストを彼の論文において発表した。<sup>3)</sup>しかし、Allenのリストには、英語に借入されてから意味の変化と共に形態が変わっていったもの(例: flower/flour等)とか、英語への借入後の頭音消失とか異形・異化等によって形態が変わったもの(例: fence/defence, trump/triumph, arant/errant等)、また、今や廃語になった語や研究社の『新英和大辞典』等には見出し語として取り上げていない語を含んでいたりする。

そこで、本論文では、日本人学生の英語の語彙の理解を深めるという視点から、余りに頻度の低い語(『ジーニアス英和辞典』のDランク以上)をAllenのリストより省き、イタリック系二重語(264組)を選び、その語源をたどって二重語であるかどうかを検証しなおし、そして、二重語の借入経路の組み合わせによる分類をおこな

い、具体的な借入経路を明示して語彙理解のための情報を提供することとする。検証にあたっては、語源情報と共に二重語の認定を明記している Klein と Barnhart の語源辞典\*、および研究社の『新英和大辞典』を用いる。

しかしながら、これら三つの辞書によって二重語を検証する過程で、それぞれの辞書における認定の不統一及び辞書間の認定のずれが見いだされた。今回取り上げた 264 組のうち、三辞書の語源情報から二重語と認定できるものが 196 組あるが、Klein が二重語と認めているものは 66 組、Barnhart は 89 組、研究社は 68 組である。三辞書のいずれかひとつ以上の辞書が二重語と認定しているものは 126 組あり、三辞書のいずれもが二重語としているのは 27 組、Klein と Barnhart が認めているもの 14 組、Klein と研究社が認めているもの 6 組、Barnhart と研究社が認めているもの 21 組である。このような認定のずれの要因として、三辞書間における語源情報の相違が考えられるが、その他にそれぞれの辞書における二重語の認定の不統一さも指摘できる。例えば、各辞書の語源情報で同一語源とみなしているのに二重語と認定していないもの、Klein 102 組、Barnhart 118 組、研究社 122 組があった。また、同一の語源というときの、同一の語とはどこまでを範囲とするのが問題となる。屈折語を同一語と見なすかどうか特に不統一性がみられる。屈折語を同一語と見なし二重語と認定しているもの、Klein 14 組、Barnhart 11 組、研究社 12 組であり、反対に認定していないもの、Klein 26 組、Barnhart 29 組、研究社 28 組であった。また、派生語も同一語とみなしたもの、Klein 2 組\*\*、Barnhart 1 組\*\*\*があった。

そこで、今回の二重語の分析における二重語の定義を次のように定める。同じ一つの語から借入されながら、借入時期とか借入経路の違いから形態とか意味の異なる語となった場合、これらの語を二重語という。ただし、屈折語は同じ一つの語と見なすが、派生語は別の語と見なす。英語に借入されてからの頭音消失とか異形・異化・短縮・転訛等は、今回の二重語には含まない。そして、a/an とか got/gotten のような形態的二重語も含まない。なお、イタリック系二重語はその経路から次の三つに分類することにする。A. 二重語のうち少なくとも一語はラテン語から直接借入されている、B. 二語ともがフランス語を経由して借入されている、C. その他のイタリック系二重語(例えば、一方がフランス語を経由し、他方がフランス語以外のロマンス語を経て借入されている場合)。そして、三重語、四重語、五重語は別の分類とする。

## 2 経路によるイタリック系二重語の分類

### A. ラテン語からの直接借入を含む二重語

英語へのラテン語の借入の歴史はブリテン島に渡ったゲルマン民族が未だ大陸にいたころに始まるが、ラテン語の影響を顕著に受け始めるのはブリテン島に移住したアングロ・サクソン人のキリスト教化 (597 年)に端を発している。キリスト教化は、教会ラテン語語彙や修道生活における語彙からの借入をもたらすことになる。1066 年の Norman Conquest の後、14 世紀を頂点としてフランス語の借入が増え、ラテン語はフランス語を経由して英語に間接的ではあるが大きな影響を及ぼし続ける。そして、文芸復興にともなうラテン・ギリシア語典拠への関心の増大からラテン語の借入は飛躍的に増加することになる。その結果、一度はフランス語を経て借入されていたラテン語の単語も、この時期に再びラテン語から直接借入され、多くのイタリック系二重語を生むことになった。ことに、ラテン語動詞の不定詞または過去分詞からの借入が多く、ラテン語動詞の約 72% が直接またはフランス語経由で英語語彙に借入され、そのうち約三分の二の動詞は二重語を形成したといわれる。<sup>4)</sup>

ラテン語は、古典ラテン語 (Classical Latin : L.), 俗ラテン語 (Vulgar Latin : VL.), 後期ラテン語 (Late Latin : LL.), 中世ラテン語 (Medieval Latin : ML.), 近代ラテン語 (Neo-Latin : ML.) などに分類される。古典ラテン語は紀元の前後に文法的形態を定め、ラテン文学者の言語として完成され固定化された。本来は、古典ラテン語は当時のローマ上流社会の日常語を基にしたものであったので、文語と口語の差は余りなかった。しかし、ギリシア語の語彙や概念を取り入れて固定化された古典ラテン語は、次第に民衆の日常語との間に

\* Ernest Klein, *A Comprehensive Etymological Dictionary of the English Language* (Amsterdam, 1966) 及び Robert K. Barnhart, *The Barnhart Dictionary of Etymology* (New York, 1988).

\*\* case / chase (case < L. *caps* n. / chase < L. *captare* v.) 及び praise / price (praise < L. *pretiāre* v. / price < L. *pretium* n.) を二重語と認定。

\*\*\* revel / rebel (revel < L. *rebellāre* v. / rebel < L. *rebellis* n.) を二重語と認定。

違いを生じはじめ、3世紀にはその違いは著しいものとなり、古典ラテン語と俗ラテン語の二つに別れていった。ラテン語の同一の語からの借入でも、古典ラテン語から直接借入された語と俗ラテン語を経て借入された語では、音声や書記上の違いが生じて二重語となった。例えば、二重語の *senior* と *sire* の語源はどちらも古典ラテン語 *senior* (“older” の意)であるが、*sire* は俗ラテン語 \**seior* から古フランス語 *sire* を経て13世紀の初めに借入され、一方の *senior* は15世紀半ばに古典ラテン語から直接借入された。

固定化され石化された古典ラテン語は衰退していくが、キリスト教会の説教や伝導の用語として用いられるようになり生き返る。それが後期ラテン語である。そこで、後期ラテン語はキリスト教・ギリシア語・俗ラテン語の影響を強く受けることになった。後期ラテン語の延長線上にある中世ラテン語はロマンス語化していく俗ラテン語の影響を受けながら古典ラテン語からは離れて行くが、シャルル大帝の *Carolingian Renaissance* により、古典ラテン語に戻す運動がおきた。このラテン語の純化はまたしても一般大衆からラテン語を引き離すことになった。しかし、ラテン語は国境を越えて知的言語として用いられ、欧州各国において教育の基礎として古典ラテン語や後期ラテン語の文学作品が読まれることになった。一方が古典ラテン語から借入され、他方が中世ラテン語から借入された二重語の例として、*crate/grate* があげられる。この二重語の語源は古典ラテン語 *cratis* (“hurdle” の意)であるが、*crate* は16世紀前半に直接借入され、*grate* は中世ラテン語を経て15世紀前半に借入された。

一方、俗ラテン語は属州ごとに変動を生じ続け、6世紀から8世紀の間にロマンス語に分化していった。したがって、ラテン語を語源とする語でも、ラテン語から直接の借入のほか、ロマンス語を経て間接的に借入される場合があり、ここにもイタリック系二重語の生じる要因があった。例えば、*aptitude* と *attitude* は、古典ラテン語 *aptus* (“fitted to” の意)を語源とする二重語であるが、*aptitude* は後期ラテン語からフランス語を経て16世紀に借入された。一方、*attitude* は、中世ラテン語からイタリア語、フランス語を経て17世紀半ばに借入され、*aptitude* と二重語を形成することになった。

ラテン語からの直接借入を含むイタリック系二重語は以下の通りである。\*

① < 古典ラテン語 vs. < 古典ラテン語

*construe* / *costruct* [Klein]

[*construe* v.](1399)“to construct” < L. *cōnstruere* “to join together”

[*construct* v.](1663)“to frame, build” < L. *cōnstructus* (pp. of *cōnstruere*)

*lobster* / *locust* [None]

[*lobster* n.](a1000)“lobster” < corruption of L. *lōcusta* “lobster, locust”

[*locust* n.](c1200)“locust” < L. *lōcusta*

*spend* / *expend* [Klein, Barnhart]

[*spend* v.](c1175)“to pay out” < L. *expendere* “to weigh out money”

[*expend* v.](c1440)“to lay out, spend (blood, care, labor, time, etc.)” < L. *expendere*

② < 古典ラテン語 vs. < 中世ラテン語 < 古典ラテン語

*crate* / *grate* [Barnhart]

[*crate* n.](1526)“a hurdle or frame of parallel cross bars” < L. *crātis* “wickwork”

[*grate* n.](1412–20)“a grating of pierced iron place” < VL. \**grāta* “lattice” < L. *crātis*

③ < 古典ラテン語 vs. < 古フランス語 < 古典ラテン語

*abbreviate* / *abridge* [Klein, Barnhart, 研究社]

[*abbreviate* v.](c1450)“to make an abstract” < L. *abbreviātus* (pp. of *abbreviāre* “to shorten”)

[*abridge* v.](1340)“to shorten” < OF. *abregier*, *abreger* (F. *abrégér*) < L. *abbreviāre*

*aggravate* / *aggrieve* [Barnhart]

[*aggravate* v.](1530)“to make heavy” < L. *aggravātus* (pp. of *aggravāre* “to make heavier”)

\* 各二重語の直後の[ ]は三つの辞書のうち二重語と認定している辞書を表し、[None]はいずれの辞書も認定していないことを意味する。また、各語の直後の数字は、OEDにおける初出の年数を表し、年数の前の“a”はbeforeを、“c”はaboutを意味する。年数に続く“ ”はOEDにおける初出の語義である。また、<は借入を意味し、OF.は古フランス語、AF.はアングロ・フランス語、It.はイタリア語、Du.はオランダ語を表す。

[aggrieve v.](1330)“to bear heavily upon” < OF. *agrever* “to bear heavily on” < L. *aggravātus*  
amicable / amiable [Klein, Barnhart, 研究社]

[amicable a.](1532)“friendly” < L. *amicābilis* “friendly”

[amiable a.](c1350)“friendly” < OF. *amiable* < L. *amicābilis*

balsam / balm [研究社]

[balsam n.](c1000)“an aromatic vegetable juice” < L. *balsamum* “gum of the balsam tree”

[balm n.](c1220)“an aromatic resinous product” < OF. *bausme*, *baume* < L. *balsamum*

camera / chamber [Barnhart, 研究社]

[camera n.](1708)“an arched roof” < L. *camera* “vault, arch”

[chamber n.](a1300)“a room (in a house)” < OF. *chambre* “room, chamber” < L. *camera*

complete / comply [None]

[complete a.](c1380)“entire, full” < L. *complētus* (pp. of *complēre* “to fill up”)

[comply v.](1602)“to observe the formalities of courtesy” < OF. *complire* < L. *complētus*

compute / count [Klein, Barnhart]

[compute v.](1631)“to calculate” < L. *computāre* “to sum up, reckon”

[count v.](c1325)“to number, reckon” < OF. *conter* (F. *compter*)“to count, reckon” < L. *computāre*

conduct / conduit [Klein]

[conduct n.](c1400)“to go with” < LL. *conductus* < L. *conductus* (pp. of *condūcere* “to lead”)

[conduit n.](c1340)“a canal, an aqueduct” < OF. *conduit* < L. *conductus*

corona / crown [Barnhart, 研究社]

[corona n.](1658)“a ring of light” < L. *corōna* “garland”

[crown n.](c1325)“a royal crown” < ME. *coroune* < OF. *corone* (F. *couronne*) < L. *corōna*

devote / devout [Barnhart]

[devote v.](1586)“to appropriate by a vow” < L. *dēvōtus* (pp. of *dēvovēre* “to vow”)

[devout a.](a1225)“devoted to divine worship or service” < OF. *devot* “devoted” < L. *dēvōtus*

emend / amend [Barnhart]

[emend](c1485)“to free from fault, correct” < L. *ēmendāre* “to free from fault”

[amend](c1220)“to free from fault” < OF. *amender* < L. *ēmendāre*

fact / feat [Klein, Barnhart, 研究社]

[fact n.](1539)“an evil deed, a crime” < L. *factum* “deed, act” (neut. pp. of *facere* “to do”)

[feat n.](1362)“overt action; deed, as opposed to words” < OF. *fet*, *fait* (F. *fait*) < L. *factum*

fan / van [None]

[fan n.](a800)“an instrument for winnowing grain” < L. *vannus* “winnowing fan”

[van n.](c1450)“a winnowing basket” < (O)F. *van* < L. *vannus*

folio / foil [None]

[folio n.](1533)“a leaf of paper” < L. *foliō* (abl. of *folium* “leaf”)

[foil n.](?c1390)“a thin layer, a leaf” < OF. *foil*, *fuil* “leaf” < L. *folium*

granary / garner [Klein]

[granary n.](1570)“a storehouse for grain after it is threshed” < L. *grānārium* “corn, granary”

[garner n.](c1175)“a storehouse for corn, granary” < OF. *gernier* “storehouse” < L. *grānārium*

history / story [Barnhart]

[history n.](1390)“a narrative, story” < L. *historia* “narrative of past events, tale, story”

[story n.](a1225)“a historical relation or anecdote” < OF. *estorie*, *estoire* < L. *historia*

inch / ounce [Klein, Barnhart, 研究社]

[inch n.](c1000)“a measure of length, the twelfth part of a foot” < L. *uncia* “the twelfth part”

- [ounce n.](c1000)“the twelfth of a pound” < OF. *unce* (F. *once*) < L. *uncia*  
 insignia / ensign [Barnhart]  
 [insignia n.](1648)“distinguishing marks of office” < L. *insignia* (pl. of *insigne* “mark”)  
 [ensign n.](1475)“to indicate, point out” < OF. *enseigne* < L. *insignia*  
 liberate / livery [None]  
 [liberate v.](1623)“to set at liberty” < L. *liberātus* (pp. of *liberāre* “to set free”)  
 [livery n.](a1300)“an allowance or ration of food served out” < OF. *livree* “clothes delivered by  
 the master to his servants”(F. *livrée*)(fem. pp. of *livrer* “to deliver”) < L. *liberāre*  
 major / mayor [Barnhart, 研究社]  
 [major a.](a1400)“greater” < L. *māior* (compar. of *magnus* “great”)  
 [mayor n.](1297)“the head of municipal corporation of a city” < OF. *maire* “head of a city or  
 town government” < L. *māior*  
 mint / money [Barnhart, 研究社]  
 [mint n.](c725) “a piece of money, a coin” < L. *monēta* “mint, money”  
 [money n.](c1330)“current coin” < OF. *moneye* < L. *monēta*  
 momentum / moment [Barnhart, 研究社]  
 [momentum n.](1735)“force with which a body moves” < L. *mōmentum* “movement”  
 [moment n.](1340)“moment of time” < OF. *moment* < L. *mōmentum*  
 nausea / noise [Klein, Barnhart]  
 [nausea n.](1569)“a feeling of sickness” < L. *nausea* “seasickness”  
 [noise n.](a1225)“loud outcry” < OF. *noise* “uproar” < L. *nausea*  
 pallid / pale [Barnhart, 研究社]  
 [pallid a.](1590)“lacking depth of colour” < L. *pallidus* “pale”  
 [pale a.](a1300)“of a whitish appearance” < OF. *pale* (F. *pâle*) < L. *pallidus*  
 paralysis / palsy [Klein, Barnhart, 研究社]  
 [paralysis n.](c1000)“paralysis” < L. *paralysis* “paralysis”  
 [palsy n.](a1300)“paralysis” < OF. *paralisie* < L. *paralysis*  
 pine / pain [Barnhart]  
 [pine n.](c1160)“punishment” < L. *poena* “punishment, penalty”  
 [pain n.](1297)“punishment” < OF. *peine* (F. *pain*) < L. *poena*  
 pole / pale [Barnhart, 研究社]  
 [pole n.](c1050)“a stake” < L. *pālus* “a stake”  
 [pale n.](c1330)“a paling, palisade” < OF. *pal* “a stake” < L. *pālus*  
 polite / polish [None]  
 [polite a.](c1450)“smoothed, polished” < L. *polītus* (pp. of *polīre* “to polish”)  
 [polish v.](a1300)“to make smooth and glossy by friction” < (O)F. *poliss* “to polish” < L. *polīre*  
 pauper / poor [Klein, Barnhart]  
 [pauper n.](1516)“a beggar” < L. *pauper* “poor”  
 [poor a.](c1200)“poor” < OF. *poure, povre* (F. *pauvre*) < L. *pauper*  
 predicate / preach [Klein, Barnhart, 研究社]  
 [predicate v.](1552)“to proclaim” < L. *praedicātus* (pp. of *praedicāre* “to announce, proclaim”)  
 [preach v.](a1225)“to pronounce a public discourse upon sacred subjects” < OF. *preechier* (F. *prêcher*)  
 < L. *praedicāre*  
 private / privy [Barnhart, 研究社]  
 [private a.](c1380)“separated from the public body” < L. *prīvātus* “private”

[privy a.](a1225)“intimate, familiar” < OF. *prive* (F. *privé* “private, tame”) < L. *privātus*  
pungent / poignant [Klein, 研究社]

[pungent a.](1597)“sharp, keen, acute” < L. *pungentem* (pres. ppl. of *pungere* “to prick”)

[poignant a.](c1400)“piercing” < OF. *poignant* (pres. ppl. of *poindre* “to prick”) < L. *pungere*  
radius / ray [Barnhart, 研究社]

[radius n.](1597)“a staff, rod” < L. *radius* “staff, stake”

[ray n.](1483)“a beam of light” < OF. *rai* < L. *radius*

relax / release [Barnhart, 研究社]

[relax v.](c1420)“to make less compact” < L. *relaxāre* “to widen again, unloose”

[release v.](1297)“to withdraw” < OF. *relaissier, relessier* “to leave behind” < L. *relaxāre*

respect / respite [Klein, Barnhart]

[respect n.](c1391)“regard, relation, connection” < L. *respectus* “a looking back”

[respit n.](c1290)“delay, extension” < OF. *respit* (F. *répit*) < L. *respectus*

retract / retreat [None]

[retract v.](1432–50)“to draw back” < L. *retractus* (pp. of *retrahere* “to draw back”)

[retreat n.](1375)“the signal to retire” < OF. *retret, retrait* (noun use of pp. of *retraire* “to withdraw”)

< L. *retrahere*

secure / sure [Klein, Barnhart, 研究社]

[secure a.](?1533)“without care, careless” < L. *sēcūrus* “free from care”

[sure a.](1340–70)“safe, secure” < OF. *seūr, sur* “safe” (F. *sûr*) < L. *sēcūrus*

security / surety [Klein]

[security n.](1432–50)“safety” < L. *sēcūritās* “safety”

[surety n.](c1374)“safety from danger, an enemy” < OF. *surté* (F. *sûreté*) < L. *sēcūritās*

special / especial [Klein, Barnhart, 研究社]

[special a.](a1225)“exceptional in character, quality or degree” < L. *speciālis* “individual”

[especial a.](c1400)“special as opposed to general” < OF. *especial* (F. *spécial*) < L. *speciālis*

species / spice [Barnhart, 研究社]

[species n.](1559)“appearance” < L. *speciēs* “kind”

[spice n.](a1225)“spice” < OF. *espice* (F. *épice*) < LL. *speciēs*

strict / strait [Klein, Barnhart, 研究社]

[strict a.](1592)“pressed tightly together” < L. *strictus* (pp. of *stringere* “to draw tightly”)

[strait a.](c1290)“scanty in spatial capacity” < OF. *estreit* “tight” (F. *étroit*) < L. *strictus*

terminus / term [Barnhart, 研究社]

[terminus n.](1571)“(math.) each of the two quantities composing a ratio” < L. *terminus* “limit”

[term n.](a1300)“extreme limit, end” < OF. *terme* “limit of time or place” < L. *terminus*

④ < 中世ラテン語 < 後期ラテン語 < 古典ラテン語 vs. < 古フランス語 < 古典ラテン語  
pageant / page [None]

[pageant n.](c1380)“a scene acted on the stage” < LL. *pāgina* < L. *pāgina* “leaf”

[page n.](1589)“one side of a leaf of a book, letter, etc.” < OF. *page* “a page” < L. *pāgina*

probe / prove [研究社]

[probe n.](1563)“a printer’s proof” < LL. *proba* “a proof” < L. *probāre* “to rest”

[prove v.](c1200)“to make trial of” < OF. *prover, pruver* (F. *prouver*) < L. *probāre*

⑤ < 俗ラテン語 < 古典ラテン語 vs. < 古フランス語 < 中世ラテン語 < 古典ラテン語  
plum / prune [Barnhart, 研究社]

[plum n.](c725)“plum” < OE. *plūme* < VL. \**prūna* “plum” < L. *prūnum* “plum”

- [prune n.](1530)“the fruit of the plum tree” < OF. *prune* “plum” < ML. *prūna* < L. *prunum*
- ⑥ < 中世ラテン語 vs. < 古フランス語 < 中世ラテン語
- dominion / dungeon [Klein]
- [dominion n.](c1430)“the power of right of governing” < ML. *dominiōnem* “domain”
- [dungeon n.](1375)“keep of a castle” < OF. *donjon* “keep of a lord’s castle” < ML. *dominiōnem*
- repatriate / repair [Barnhart, 研究社]
- [repatriate v.](1611)“to restore to his own country” < LL. *repatriātus* (pp. of *repatriāre* “to return to one’s country”)
- [repair v.](13., c1320)“to go, betake oneself” < OF. *repairier* “to return to one’s country” (F. *repairer*) < LL. *repatriāre*
- supervise / survey [None]
- [supervise v.](1588)“to look over” < ML. *supervīsus* (pp. of *supervidēre* “to oversee”)
- [survey v.](1467-8)“to have the oversight of” < AF. *surveier* < OF. *surveeir*, *sourveoir* < ML. *supervidēre*
- zealous / jealous [Klein, 研究社]
- [zealous a.](1535)“incited by zeal” < ML. *zēlōsus* < LL. *zēlus* “zeal”
- [jealous a.](1382)“vehement in feeling” < OF. *gelos* (F. *jaloux*) < ML. *zēlōsus* < LL. *zēlus*
- ⑦ < 古典ラテン語 vs. < 古フランス語 < 俗ラテン語 < 古典ラテン語
- deliberate / deliver [None]
- [deliberate a.](1548)“well weighed” < L. *dēlībērātus* (pp. of *dēlībērāre* “to weigh well”)
- [deliver v.](c1325)“to release from a place” < OF. *delivrer* “to set free” < VL.\**dēlībērāre* < L. *dēlībērāre*
- direct / dress [Klein, Barnhart]
- [direct v.](c1374)“to dedicate” < L. *dīrēctus* (pp. of *dīrigere* “to set straight”)
- [dress v.](1375)“to make straight or right” < (O)F. *dresser* “to arrange, prepare” < VL. *\*dīrēctiāre* < L. *dīrēctus*
- particle / parcel [None]
- [particle n.](1380)“a small part, portion” < L. *particula* “little bit” (dimin. of *pars* “part”)
- [parcel n.](c1368)“a small part” < OF. *parcelle* “a small piece” < VL. *\*particella* < L. *particula*
- senior / sire [None]
- [senior a.](1432-50)“older, elder” < L. *senior* “older” (compar. of *senex* “old”)
- [sire n.](c1205)“sire” < OF. *sire* < VL. *\*seior* < L. *senior*
- ⑧ < 古典ラテン語 vs. < 古フランス語 < 中世ラテン語 < 古典ラテン語
- chorus / choir [None]
- [chorus n.](1606)“an organized band of singers and dancers in the religious festivals” < L. *chorus* “dance, band of dancers and singers”
- [choir n.](c1300)“the clergy of a cathedral engaged performing the church service” < OF. *cuier* “choir of a church” (F. *chaur*) < L. *chorus*
- ⑨ < 古典ラテン語 vs. < フランス語 < 古フランス語
- deposit / depot [Klein, Barnhart]
- [deposit n.](a1660)“something laid up in a place, or committed to the charge of a person” < L. *dēpositum* “deposit”
- [depot n.](1794)“deposition, deposit” < F. *dépôt* < OF. *depost* “a deposit” < L. *dēpositum*
- ⑩ < 古典ラテン語 vs. < アングロ・フランス語 < 古フランス語 < 古典ラテン語
- nitid / neat [None]
- [nitid a.](1656)“bright, shining” < L. *nitidus* (pres. ppl. of *nitēre* “to shine”)
- [neat a.](1542)“clean” < MF. *net* “clean, pure” < OF. *net* < L. *nitidus*

papyrus / paper [ 研究社 ]

[papyrus n.](1388)“papyrus; an aquatic plant” < L. *papyrus* “paper”

[paper n.](13.., c1374)“paper” < AF. *paper*, *papier* < OF. *papier* < L. *papyrus*

⑪ < 古典ラテン語 vs. < アングロ・フランス語 < 古フランス語 < 俗フランス語 < 古典ラテン語

prosecute / pursue [Klein, 研究社]

[prosecute v.](1432-50)“to follow up” < L. *prōsecūtus* (pp. of *prōsequī* “to follow after”)

[pursue v.](c1290)“to follow with hostility or enmity” < AF. *pursuer* < OF. *poursuivre* (F. *poursuivre*) < VL. \**prōsequere* < L. *prōsequī*

⑫ < 古典ラテン語 vs. < フランス語 < 古典ラテン語

basis / base [Barnhart, 研究社]

[basis n.](1571)“the bottom of anything, considered as its support” < L. *basis* “foundation”

[base n.](c1325)“the bottom of any object, when considered as its support” < F. *base* “pedestal” < L. *basis*

designate / design [None]

[designate a.](1801)“to point out” < L. *dēsīgnātus* (pp. of *dēsīgnāre* “to mark out”)

[design v.](1593)“to point out by distinctive sign” < F. *dēsīgner* “to denote by a mark” < L. *dēsīgnāre*

tract / trait [ 研究社 ]

[tract n.](1432-50)“a written or printed discourse” < L. *tractus* “drawing”(pp. of *trahere* “to draw”)

[trait n.](c1477)“shot of any kind, missiles” < MF. *trait* “stroke, feature” < L. *tractus*

⑬ < 古典ラテン語 vs. < フランス語 < イタリア語 < 古典ラテン語

insulate / isolate [Klein, Barnhart]

[insulate v.](1538)“to make into an island” < L. *īnsulātus* (pp. of *īnsulāre* “to insulate”)

[isolate v.](1807)“to place or set apart or alone” < F. *isolé* < It. *isolato* (pp.) < L. *īnsulātus*

intricate / intrigue [None]

[intricate a.](1579)“perplexingly entangled or involved” < L. *īntrīcāre* “to entangle”

[intrigue v.](1612)“to trick, deceive” < F. *īntrīguer* “to puzzle, plot” < It. *īntrīgare* “to plot or meddle” < L. *īntrīcāre*

⑭ < 後期ラテン語 < 古典ラテン語 vs. < フランス語 < イタリア語 < 中世ラテン語 < 古典ラテン語

aptitude / attitude [Barnhart]

[aptitude n.](1548)“quick-wittedness” < LL. *aptitūdō* “fitness” < L. *aptus* “fitted to”

[attitude n.](1668)“the disposition of a figure in statuary or painting” < F. *attitude* “joined, fitted” < It. *attitudine* “aptness” < ML. *aptitūdinem* (acc. of *aptitūdō* “fitness”) < L. *aptus*

(次号につづく)\*

## 引用文献

- 1) Skeat, W. W., *An Etymological Dictionary of the English Language*, Clarendon Press, Oxford, pp. 748-751 (1978)
- 2) Allen, Edward A., *Publications of the Modern Language Association of America*, XXIII p184 (1908)
- 3) 同上, pp. 184-239 (1908)
- 4) Scheler, Manfred, *Der englische Wortschatz* 『英語語彙の歴史と構造』(大泉昭夫訳) 南雲堂 東京, p. 52 (1990)

\* なお、紙面の都合で以下のイタリック系二重語の提示を省略した。(②ministry/mystery ③drake/dragon, found/fuse, illuminate/limn, protract/portray, secrete/secret, mass/mess ⑦pupa/puppy ⑩expand/spawn, feud/fee ⑪excerpt/pursue ⑫comprehend/comprise, distraint/distract, mob/mobile, maximun/maxim, transverse/traverse, pope/papa, その他 cancer/canker, juniper/geneva(gin), cope/cape). また、参考文献は次号において掲載する。